

越前焼



担当 文化財調査員 吉田悠歩

越前焼とは、中世以降、現在の福井県丹生郡越前町一帯で焼かれている陶器の総称です。

中世の初めに常滑窯の技術を導入して生産が始まり、以降、無釉の壺・甕・播鉢などを中心に生産してきました。日本海交易を通じて日本海沿岸の各地に運ばれ、特に中世後期には北海道から山陰地方まで流通しました。

1. キーワード

越前焼 六古窯 陶磁器 福井 上田三平 小山富士夫 檜崎彰一 水野九右衛門 など

2. 調べものの基本

本格的な調べものをするときの基本は、第一に信用できる情報源にあたること、第二にできるだけたくさんの情報源にあたること、第三に見つけた情報源を手掛かりに新たな情報源を探す作業を何度も繰り返すこと、の三つです。

情報源として一番信用できるのは、専門家が書いた本などの印刷物です。その次に博物館や大学など専門機関のホームページが続きます。また、本を読むだけでなく、実際に遺跡や博物館を訪れたりするとより理解が深まります。

ここでは、本の探し方と入手方法、遺跡や博物館の情報の探し方をご紹介します。

2-1. 本の探し方

①図書館で探す

- キーワードを手掛かりに図書館の検索端末で探す。
- 関連する本や事典などが置いてある本棚を実際に見て探す。
- 司書の人に相談する（レファレンスサービス・相談カウンターなど）。

②本で探す

- 本の探し方について書いてある本やホームページを参考に本を探す。
- レファレンスブック（事典・図鑑・便覧・年表・地図帳・書誌目録など）で探す。
レファレンスブックを読んで、本を探すためのキーワードを見つけます。

c. 見つけた本を手掛かりに探す

1冊本が見つかったら、その本の作者の名前や本の中に出てきたキーワードを手掛かりに本を探します。読書案内や参考文献が付いている本では、そこに紹介されている本やその作者の名前も参考になります。また本が何冊か見つかってくると、その分野の本を得意とする出版社が分かってくるので、本を探す時の助けになります。

③インターネットで探す

本のデータベースには、国立国会図書館の「国会図書館サーチ」などがあります。また、奈良文化財研究所は「全国文化財総覧」という文化財の総合的なデータベースを公開しています。これらのデータベースにキーワードを入力して本を調べることができます。

2-2. 本の入手方法

①所蔵している図書館を調べる

国立国会図書館「国立国会図書館サーチ」・国立情報学研究所「CiNii Books」・(株)カーリル「カーリル」などのサイトで、全国の公共図書館や大学図書館などの蔵書をインターネットから検索することができます。また図書館の検索用端末も活用できます。

②近くの図書館などがない本を手に入れる

図書館に相談すると、連携している他の図書館から蔵書を取り寄せたり、コピーを送ってもらったりすることができる場合があります。また、国立国会図書館では、遠隔複写サービス（インターネットなどから複写を申し込み、複写物を受け取ることができるサービス）や、著作権保護期間の満了した本の公開をホームページで行っています。このほか、書店などで本を購入することや、専門のサイトから論文をダウンロードすることができます。

2-3. 遺跡や博物館の情報の探し方

①本で探す

多くの場合、本に紹介されている遺跡や関連する博物館を見に行くことができます。

遺跡が見学できるように整備されていなかったり、博物館に見たい資料が展示されていないことがあります。また、遺跡を掘り返したり汚したりすること、私有地に勝手に立ち入ることなどはしてはいけません。マナーを守って見学しましょう。

②インターネットで探す

博物館や遺跡のある都道府県や市町村のホームページで調べることができます。また、文化庁の「博物館総合サイト」「文化遺産オンライン」や国立文化財機構の「e 国宝」、奈良文化財研究所の「全国文化財総覧」などで各地の博物館や遺跡、資料について知ることができます。このほか観光サイトなども役に立ちます。



知りたいことが全部1冊の本にまとめられているとは限らないよ。
地道に探そう!

3. 調べものの手掛かりになる本

本の名前 「論文の名前」、『本の名前』（『シリーズ名』）	本の情報 作者、刊行年、出版社など	難しさ	当館 蔵書
「越前窯跡群における中世前期の生産構造と段階的変遷」『中近世陶磁器の考古学』第十卷	木村孝一郎 2019 雄山閣	専門家	○
「越前窯跡群における窯構造の変遷」『中近世陶磁器の考古学』第十六卷	木村孝一郎 2022 雄山閣	専門家	×
『焼き物鑑定入門』	芸術新潮編集部編（出川直樹監修）1983 新潮社	一般	×
『越前 常滑』（『陶磁大系』7）	沢田由治 1973 平凡社	一般	○
『世界陶磁全集』1～22、索引	1975-1987 小学館	一般	△
『概説 中世の土器・陶磁器』	中世土器研究会編 1995 真陽社	専門家	×
『新版 概説 中世の土器・陶磁器』	日本中世土器研究会編 2022 真陽社	専門家	×
『越前焼総合調査事業報告書』（『福井県教育庁埋蔵文化財調査センター所報』6）	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 2016	専門家	○
『第4回企画展 一乗谷と越前焼』	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館編 1990	一般	×
『第6回企画展 一乗谷と職人』	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館編 1993	一般	×
『第9回企画展 海のネットワーク 日本海交易と一乗谷』	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館編 1996	一般	×
『技 出土遺物にみる中世手工業の世界』	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館編 2007	一般	○
『中・近世の北陸—考古学が語る社会史—』	北陸中世土器研究会編 1997 柏書房	専門家	×
『角川日本陶磁大辞典』	矢部良明ほか 2011 角川学芸出版	一般	×

※蔵書欄の○△は当館図書室所蔵図書（△はシリーズの一部のみ異なる版などを所蔵の場合）。場合によりご利用いただけないことがあります。



4. おすすめの博物館・遺跡・資料など

博物館	所在地
越前陶芸村・福井県陶芸館・越前古窯博物館	福井県丹生郡越前町小曾原 107-1-169
越前町 織田文化歴史館	福井県丹生郡越前町織田 153-1-8

※遺跡が整備されていない場合や、資料が展示していない場合もあります。

※遺跡を勝手に掘り返すことや汚すこと、私有地に無断で立ち入ることはしてはいけません。マナーを守って見学しましょう。

※ケガや熱中症などにならないよう、安全に気を付けましょう。

MEMO

学芸員おすすめ！パスファインダー（調べ案内）No. 2
越前焼

作 成 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館
作 成 日 2026年3月28日
記載された内容は作成日当時のものです。